

# MATSUI

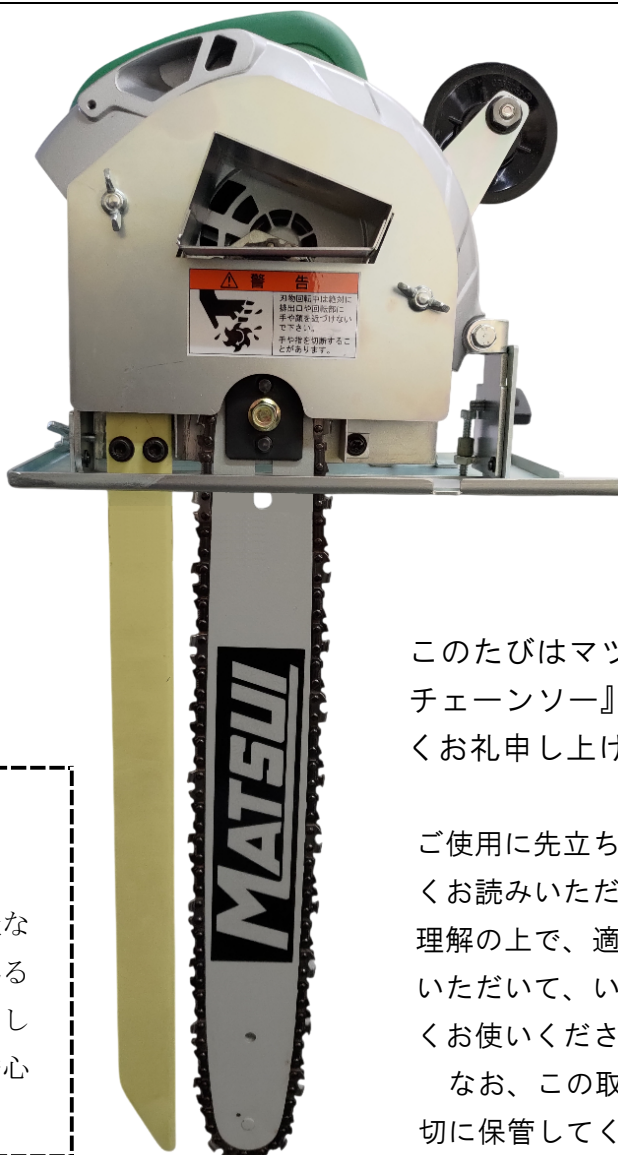
## バーティカルチェーンソー

□ 95mmモデル VC-100B (電気ブレーキ付き)

□ 300mmモデル VC-300B (電気ブレーキ付き)

□ 360mmモデル VC-350B (電気ブレーキ付き)

# 取扱説明書



### 二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示される安全マークで、接地[アース]しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびはマツイ、『バーティカルチェーンソー』をお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただき、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願いします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



株式会社

松井鉄工所

# 主要機能

主要機能	モデル	VC-100B	VC-300B	VC-350B
電動機		直巻整流子電動機		
電圧		単相 100V		
電流		11A		
周波数		50-60Hz		
消費電力		1,050W		
チェーンスピード		8.6m/s[520m/min]		
切断有効長		95mm	300mm	360mm
傾斜切断		0~45°		
チェーン刃タイプ		25AP	91PX	
チェーン刃ピッチ		1/4 インチ	3/8 インチ	
ドライブリンク数		42	52	56
チェーン潤滑剤		チェーン専用潤滑材チェーンルブ		
質量		6.4kg (VC-350B)		

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がございますので、ご了承ください。

## 注意文の **△警告**・**△注意**・**注**の意味について

**△警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**△注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。  
 なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注** : 製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、完全にご理解頂くまでは機械を作動させないでください。
- 火災・感電・怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」をお読みの上、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- この取扱説明書は機械を使用される方がいつでもご覧になれるところに保管して下さい。
- 本機を絶対に改造しないでください。

## ⚠警告

- 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2. 作業場の状況も考慮してください。**
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 3. 感電に注意してください。**
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- 4. 子供を近づけないでください。**
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手が届かないよう錠のかかるところに保管してください。
- 6. 無理して使用しないでください。**
  - ・ 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 7. 作業にあった電動工具を使用してください。**
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 8. 巻き込まれに注意してください。**
  - ・ 電動工具を使用する際は、回転部に巻き込まれる恐れがある身なりで作業をしないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑りどめのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

## ⚠警告

9. **保護めがねを使用してください。**
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. **加工するものをしっかり固定してください。**
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - ・安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
14. **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。**
  - ・使用しない または 修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビット等、付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
15. **調整キーやレンチ等は、必ず取り外してください。**
  - ・電源を入れる前に、調整に用いたレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. **不意な始動は避けてください。**
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイアコード又はキャブタイアケーブルの延長コードを使用してください。
18. **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。

## ⚠警告

### 19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付状態その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

### 20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

### 21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

## バーティカルチェーンソー安全上のご注意

- 先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、バーティカルチェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠警告

1. **使用電源は、銘板に指示してある電圧で使用してください。**
  - ・指示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、怪我、故障の原因になります。
2. **バーティカルチェーンソーを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。**
  - ・感電の恐れがあります。
3. **セーフティーバーは絶対に取り外さないでください。**
  - ・思わぬ怪我の原因になります。
4. **チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。**
  - ・誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃が外れけがの原因になります。
5. **使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。**
  - ・思わぬ怪我の原因になります。
6. **切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。**
  - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
7. **体調の悪いときや無理な姿勢での使用はしないでください。**
  - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
8. **はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。**
  - ・けがの原因となります。
9. **肩の高さより高い位置で使用しないでください。**
  - ・けがの原因となります。
10. **ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を材料や地面、作業台等に触れさせないように作業してください。**
  - ・機械がはね返り（キックバック）けがの原因となります。
11. **使用中はチェーン刃、ガイドバーや回転部に手、顔、衣類等を近づけないでください。**
  - ・けがの原因となります。
12. **切り屑が本体等にたまり作業の妨げになるときはスイッチを「切り（OFF）」の状態にし、プラグを電源より抜き刃物の回転が停止したことを確認してから掃除をしてください。**
  - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
13. **使用中に機械の調子が悪かったり、異音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理をご依頼してください。**
  - ・そのまま使用していると、思わぬ事故、けがの原因となります。
14. **電源プラグをコンセントに接続する前にスイッチが確実に切れるかどうか、切れた状態かどうかを確認してください。**
  - ・事故となる恐れがあります
15. **誤って落としたり、ぶつけた時は、チェーン刃やガイドバーや機械などに破損や亀裂、変形が無い事をよく点検してください。**
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。

**注**

〔事業者の方へ〕

- ・ 本機を伐木または伐木した木を木材に加工する造材といった伐木作業等の業務に使用する場合は下記の関連法規に定められる特別教育を受講したうえで使用してください。

- 関連法規

労働安全衛生法第 59 条第 3 項

安全衛生特別教育規程第 10 条

労働安全衛生規則第 36 条第 8 号

## △注意

1. 使用中、コードを切断しないよう注意してください。
  - ・万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。
  - ・感電の恐れがあります。
2. 使用しない時は、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
  - ・けがの原因となります。
3. スイッチを入れる前に、刃物が、材料に当たっていないか必ず確認してください。
  - ・思わぬ事故になる恐れがあります。
4. チェーン刃の取扱には、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
  - ・不用意に扱うと、切り傷の原因となります。
5. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・回転部に巻き込まれ、けがの原因となります。
6. 材料に石、釘などの異物が無いことを確かめてください。
  - ・けがの原因となります。
7. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
  - ・けがの原因となります。
8. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - ・ガイドバーが挟み付けられるとけがの原因となります。
9. 切断する材料の下に障害物がない事を確認してください。
  - ・強い反発力が生じ、けがの原因となります。
10. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
  - ・機体を落としたりし、けがの原因となります。
11. 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
  - ・不意の接触などで、けがの原因となります。
12. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
  - ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因となります。
13. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因となります。

## 注

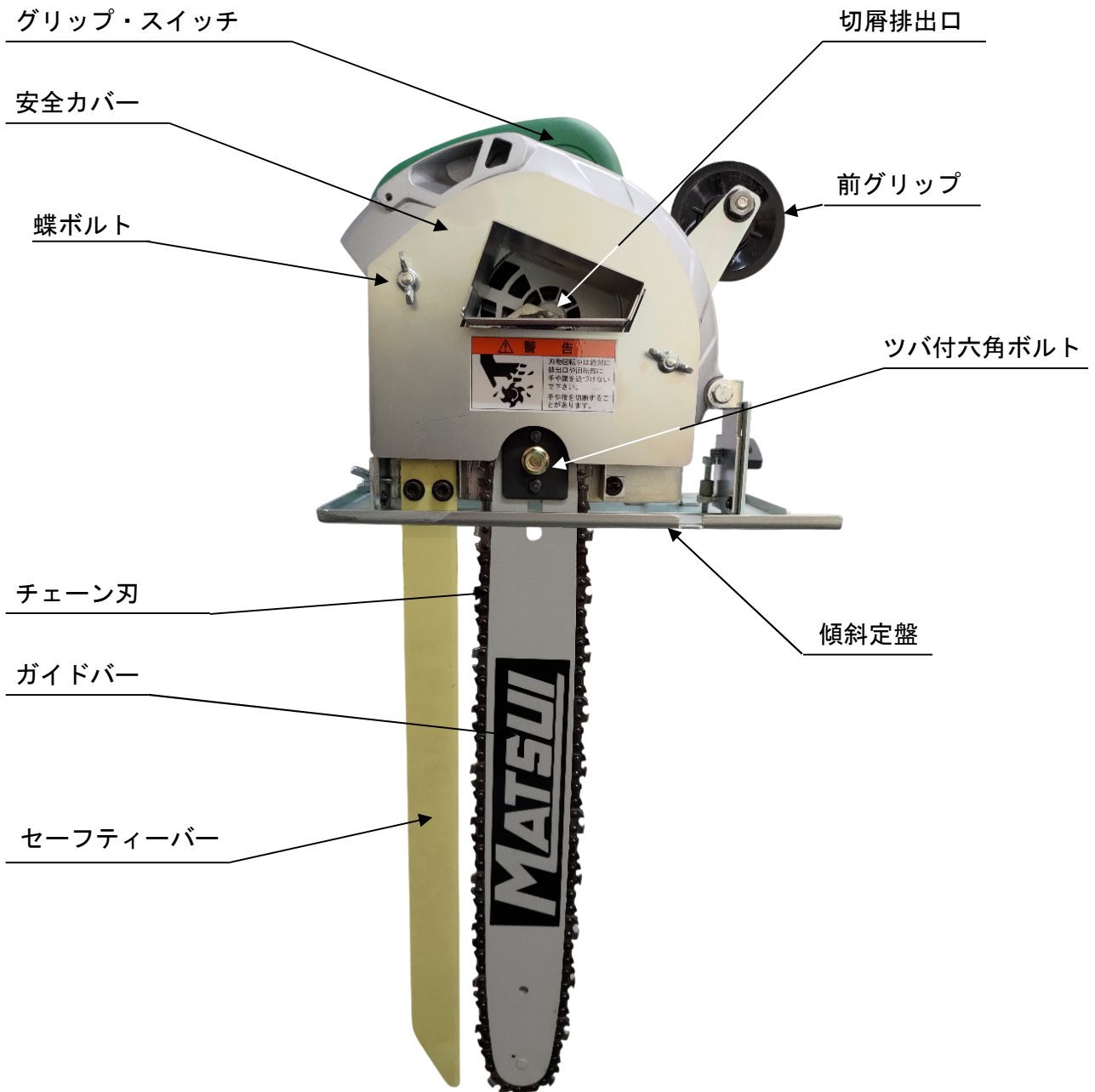
- ・電源が離れていて中継コードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25 mm <sup>2</sup>	10m
2.00 mm <sup>2</sup>	15m
3.5 mm <sup>2</sup>	30m

つなぎコードは本機のコードと同じような被覆を施したコードを使用してください。

# 各部の名称および通常付属品



## 標準付属品

- ・ チェーン潤滑スプレー



- ・ チェーンカバー



- ・ 平行定規



# 使い方

## チェーン刃の取り付け・取り外し方

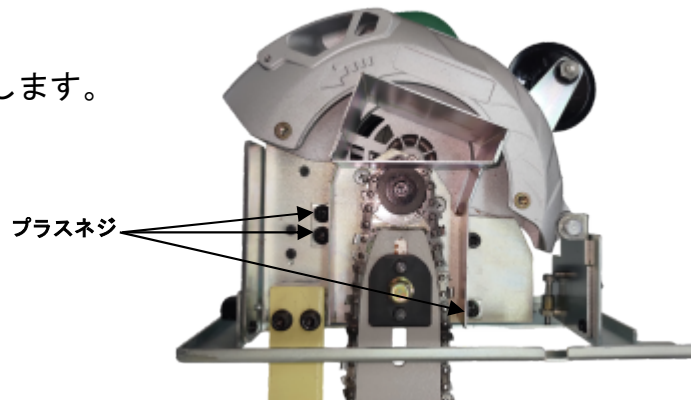
### ⚠警告

チェーン刃の取り付け・取り外しの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

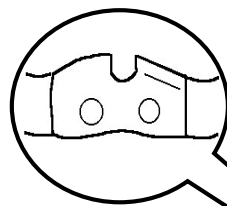
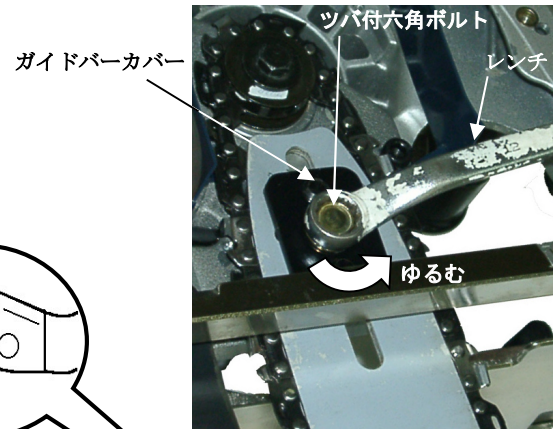
・プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

### 取り付け方

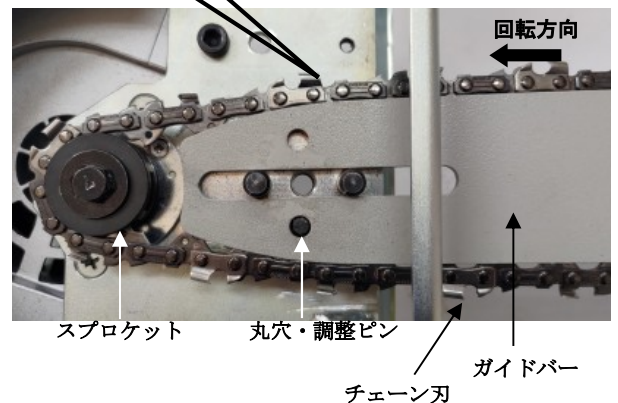
- 蝶ボルトを緩め安全カバーを取り外します。  
プラスねじ3個を緩め切屑排出口を取り外します。



- レンチでガイドバーを取り付けているツバ付六角ボルトを取り外し、ガイドバーカバーを取り外してください



- チェーン刃をガイドバーの先端に入れ、他端を本機のsprocket部にいれてください、この際、チェーン刃は写真の矢印方向に回転しますから、チェーン刃の方向をイラストのようにセットしてください。
- ガイドバーを本機の取り付け面にのせ、ガイドバー下部の丸穴が調整ピンに入るように本機下部より調整ネジで調整してください。
- ガイドバーカバーを取り付け、ツバ付き六角ボルトを軽く締め付けてください。
- 切屑排出口、安全カバーを取り付けてください。

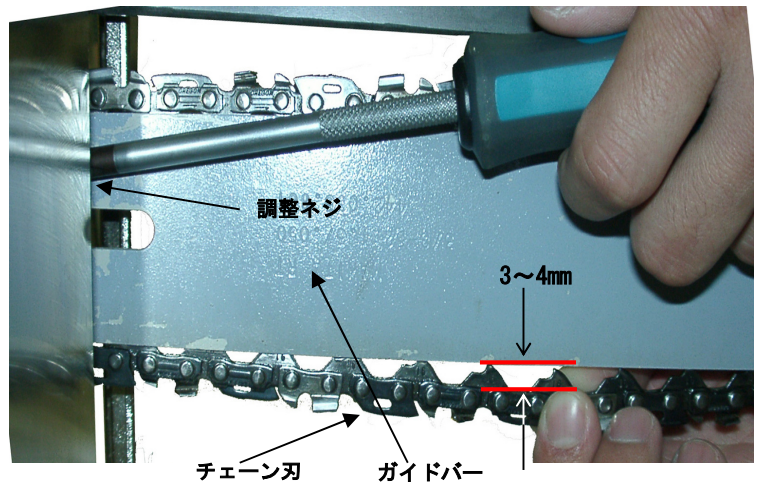


## 取り外し方

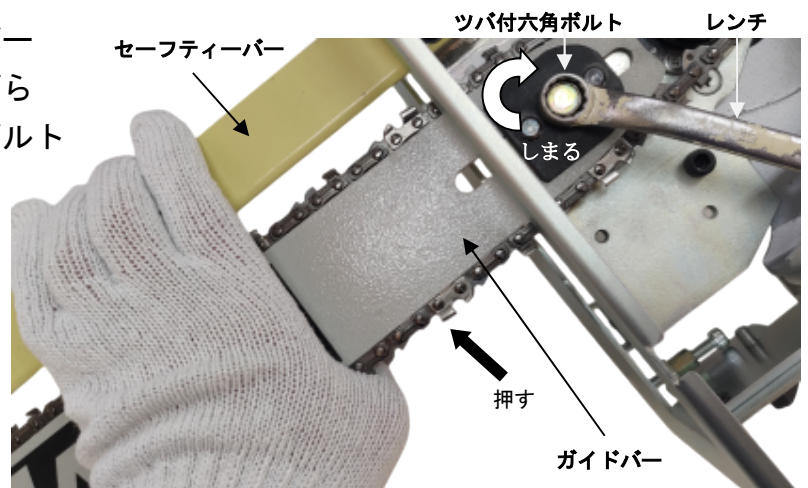
- ・ 取り外すときは取り付け方の逆の要領で行って下さい。

## チェーン刃の調整

- ・ ガイドバーの中央部でチェーン刃を軽く持ち上げ、ガイドバーとチェーン刃との間が、3~4mm 程度になるように本機の下部にある調整ネジで調整してください。  
この時、ガイドバーの先端を軽くセーフティーバー側へ押し付けた状態で調整してください。



- ・ ガイドバーの先端がセーフティーバー側を向くようガイドバーを押しながらガイドバー取り付け用ツバ付六角ボルトをしっかりと締め付けてください。



### 注

- ・ チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの磨耗などの原因になります。
- ・ 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ・ またチェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々適正な張りに調整してください。

## スイッチの操作

### ⚠警告

電源を入れる前に、スイッチの引き金を引き、離れたとき引金に戻る事を必ず確認してください。

- ・ 事故となる恐れがあります

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。



### ⚠注意

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。  
ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。

- ・ けがの原因となります

## チェーン刃の潤滑

### 注

- ・ お使いになるときは、付属のチェーン潤滑スプレーをチェーン刃に塗布してください。
- ・ 潤滑スプレーはチェーン専用潤滑材であるチェーンルブをご使用ください。
- ・ 使用前にスプレー缶はよく振ってください。
- ・ 潤滑材を塗布しないと焼き付きが発生しチェーン刃の劣化の原因となります。
- ・ ノズルをチェーン刃とガイドバーの境目に近づけ、境目に沿って潤滑材を塗布してください。
- ・ 潤滑材を塗布後、30 秒程度置いてガイドバー溝部に浸透させた後、機械を軽く空転させ潤滑材をガイドバー溝部全体に行渡らせてください。
- ・ ガイドバー表面に残った潤滑材は木材切断時に切削片に付着して飛び散ります。切断前に拭き取ることを推奨します。

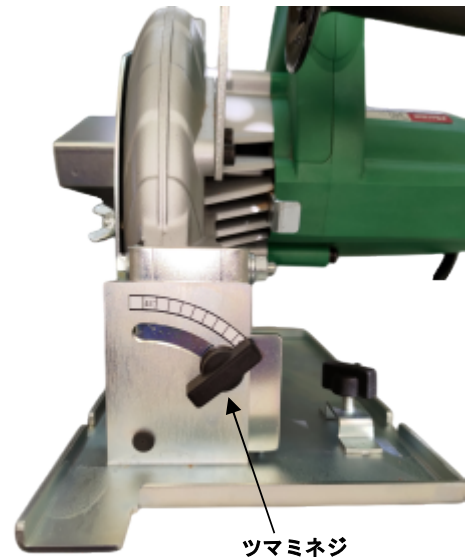
連続使用 2~3 分を目安に潤滑材を適宜塗布してください。



チェーン刃とガイドバーの境目に沿って塗布します

## 傾斜角度の調整

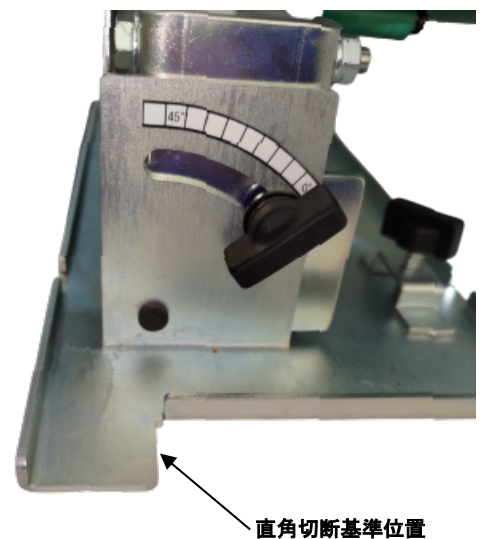
- ・ 角度調節用のツマミネジ（前後2ヶ所）をゆるめて、お望みの角度（0～45°）に本機を傾けてください。調整後はツマミネジをしっかり締め付けてください。



トップガイド

## 切断基準位置

- ・ 定盤突出部側面の位置が直角に切断する時の基準位置となります。



## 切断方法

### ⚠警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

使用中はチェーン刃、ガイドバーや回転部に手、顔、衣類等を近づけないでください。

- ・ 怪我の原因となります。

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を材料や地面、作業台等に触れさせないように作業してください。

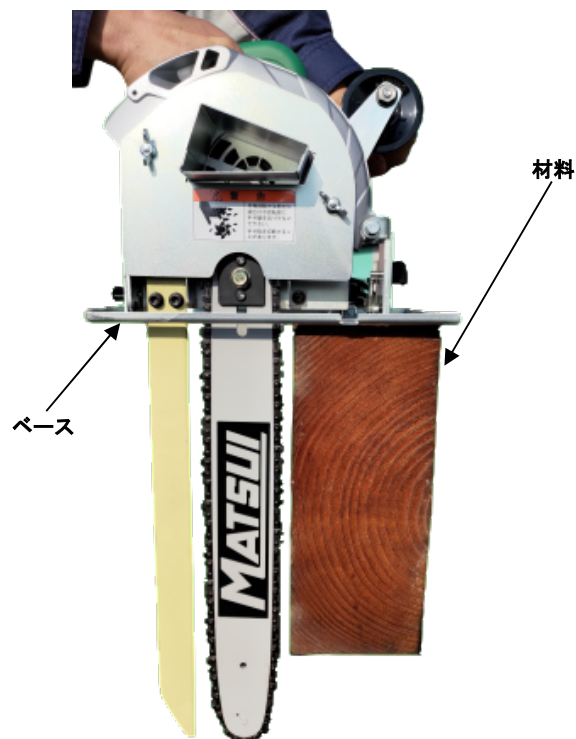
- ・ 機械がはね返り（キックバック）けがの原因となります。

## ⚠注意

切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

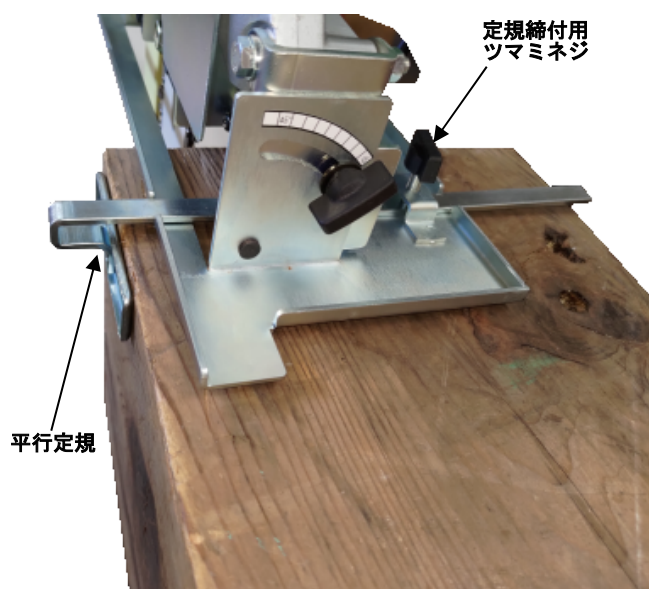
・けがの原因となります。

- ・ 回り止めや作業台などを用いて、木材が動かないように固定してください。
- ・ 材料の上にベースをのせ、チェーン刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ベースを材料に密着させ、ケガキ線に合わせてください。本機をしっかり保持し、チェーン刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



## 平行定規の使い方

- ・ 平行定規は正確にまっすぐ切断したい時や一定の幅で繰り返し切断したい時に使用してください。
- ・ 平行定規を取り付けるときは、ベース前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、ツマミネジでしっかり締め付けてください。



# 保守・点検について

## ⚠警告

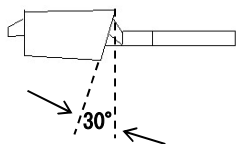
点検・整備の際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。  
・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

## チェーンの目立て

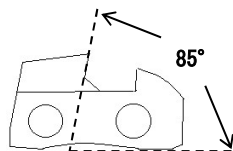
## ⚠警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。  
・特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

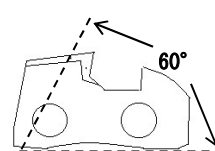
上刃目立角度



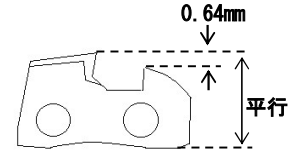
横刃目立角度



上刃切削角度

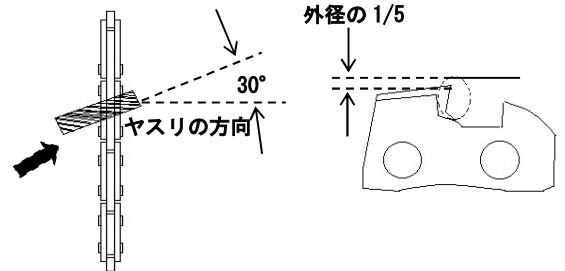


デプスゲージ



### (1) 上刃及び横刃の目立て

① ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径1/5が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。

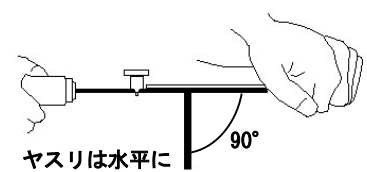


刃の内側から外側に目立てる ヤスリの外径の1/5を上に出す

② 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。

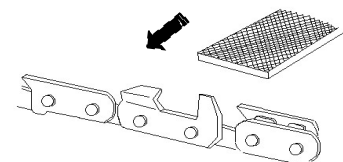
### (2) デプスゲージの目立て

① 平ヤスリをデプスゲージに水平に当て目立てしてください。

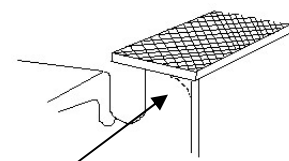


ヤスリは水平に

② デプスゲージの角に丸みを付けてください。



(3) チェーン刃の目立てが終わりましたら、オイルに浸して切粉を洗い落としてください。



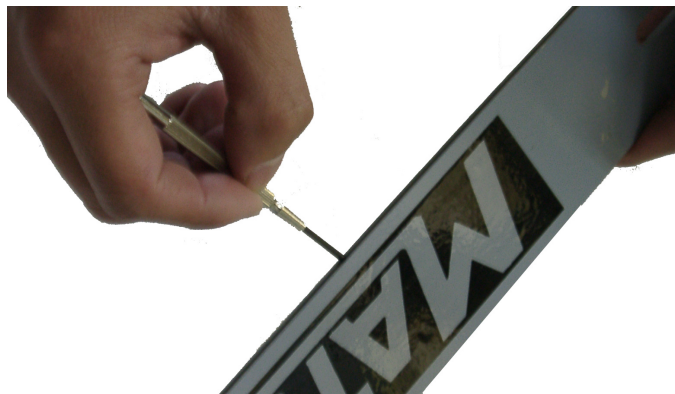
丸みを付ける

## 注

・ 刃部の目立てには、外径が4mm（呼び5/32”）の目立て専用丸ヤスリを、またデプスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。

## ガイドバーの清掃

- ・ ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまると、溝部に塗布している潤滑材の効きが悪くなります。チェーン刃を目立てや交換する時に、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。

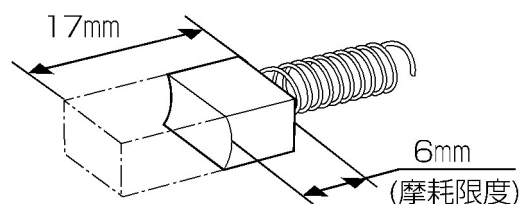


## カーボンブラシの交換

- ・ モーター部のカーボンブラシは時々、とりはずして点検してください。カーボンブラシが磨耗限度 6mm まで磨耗したら新品と取り替えてください。

このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くか確認してください。新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。(999043)

- ・ マイナスドライバーでブラシホルダキャップを外してください。中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えブラシホルダキャップを組付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



## 本機の保管

- ・ 安全カバー、切屑排出口、チェーン刃、ガイドバーを取り外し、本機に付着した切り屑を除去してください。
- ・ 再度チェーン刃、ガイドバー、切屑排出口、安全カバーを取り付けます。
- ・ 防錆のため潤滑スプレーをチェーン刃に塗布してください。ガイドバー表面に残った潤滑材は拭き取ってください。

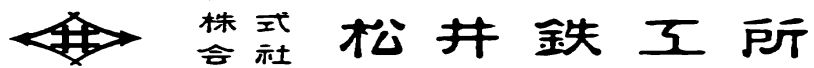
## ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの販売店にお申しつけください。



# MEMO





## **MATSUI IRON WORKS CO., LTD.**

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町 70 番地

TEL : (0596) 36-3346 FAX : (0596) 36-3598

URL <https://www.matsui-j.co.jp>